

- 1 P. みなみ会活動紹介
- 2 P. ふるさとを想う
懐かしいあの頃
にしわき発見
きつね塚古墳
- 3 P. ひと
郷土市の伝道者 菅澤敏弘さん
まち 歌声コミュニティー
- 4 P. 交流ルーム
「読書感想文の指導を終えて」
図書紹介
『クロニクル千古の闇1
オオカミ族の少年』
事務局だより

認定 特定非営利活動(NPO)法人

みなみ会 だより

2018年9月1日発行
第19号

つたえる部会編集

〒677-0054
西脇市野村町1795番地の8
西脇南中学校 1F地域交流ルーム内
TEL.0795-22-5151
FAX.0795-22-5152
E-mail : info@minami-kai.org
URL. http://minami-kai.org
ホームページ [みなみ会](#) 検索

夏休み市内の子どもたちに 3つの事業を行いました 「読書感想文のお手伝い」 延べ71人がサポート



今年の夏休み期間、市内の子ども向けに「宿題をやっつけよう」「工作教室」そして、「夏休み読書感想文のお手伝い」の事業をおこないました。そのなかから、読書感想文のお手伝いを紹介します。

3会場に今年は増えました。それぞれ3日間です。参加申込者が多い講座です。夏休みの宿題の中で、もっとも

難儀な宿題、と子どもや保護者も感じているようです。同じように指導に当たる元教員の先生方にとっても大変苦労を要するものです。事前に連絡会を開き、指導方針の共通理解をするとともに、会場毎に打合せを持ち本番を迎えました。小学1年生から6年生まで年齢幅があります。学年ごとや、低・中高学年に分ける必要があります。悩みは指導に当たるスタッフの確保です。幸いなことに、多くの先生方から、この読書教室に対する理解と協力を得ることができました。

終了後、指導に当たった先生の方々に感想を伺いました。

作文指導で工夫をしたことでは、最初から先生をあてに「してもらう」感覚を取り払い、「自分でやるといいう」心構えを持つように、



参加者に仕向けたこと。苦労したことでは、最初に本の選び方を間違っているため、指導が難しかったことです。



印象に残った子どもとして、本を選ぶにあたり、親子で一緒に選んで持ってきた複数の小4生がいたことや、6年男子でNHK大河ドラマ『西郷隆盛』に関心をもち、自分で本を選び、幼い頃の隆盛と自分とを対比させながら、共感する部分やこれからの自分の生き方にまで踏み込んで書き進んだこと。また、3年生男子は「お母さんの取扱説明書」を選んでいきます。内容が面白い

いためほとんど読み進め、意欲満々だがその思いや、考えを深める力がやや乏しかったため苦労していました。それでも自分のお母さんのことと照らし合わせながら、何とかまとめあげています。

原稿用紙に向かっているとき、「字がきれいな」「上手く書けている」とほめながら、いつぼうで「楽しかった」「面白かった」「悲しかった」などのありきたりの感想しか書けない子どもには、表現の仕方を少し工夫するように助言したことです。

このように読書感想文のサポートは無事終了しました。これは、他の夏休みの宿題と比べ時間と労力がかかりました。しかし、やり遂げれば子ども達だけでなく、指導者側にも充実感や達成感があります。参加した子どもたちはがんばりました。作文や読書感想文を書くにあたって、指導に携わった先生方からの助言があります。共通していることは、日ごろから本に関心を持ち、読書する習慣を身に付けてほしいということです。

読書に関連して興味ある調査結果が、今年6月に新聞紙上に掲載されています。文部科学省が昨年春の全国学力調査の結果を分析したところ、日ごろから本や新聞に親しんだり、規則正しい生活を促したりしている家庭の子どもは、保護者の収入や学歴に関係なく好成绩の傾向にある、ということでした。

工作教室 市内2会場へ延べ6日

作品のテーマは「和紙」「木の皮」「石ころ」の3つです。この日は和紙で「アート」で作品作り。色とりどりの和紙を使って、花ビン兼貯金箱と花をつくります。熱心に取り組んでいました。作品を持って写真撮影。指導は教員OBの方々とみなみ会スタッフです。



宿題をやっつけよう 市内15会場で開催

黒田庄地区会館(黒つこプラザ)にはひととき暑く中でも係わらず、子ども達が元気に参加しています。黒板には時間割や約束事が書いてあります。この日は9人の参加で、1年生から5年生までが来ています。男子が7人。熱心に宿題に取り組んでいる姿に感心しました。今日の担当は、教員OBと兵庫教育大学院生のお二人でした。



ふるさとを想う

懐かしいあの頃

横道 多恵子

自宅はいつも学校に近かった。父の転勤で暮らした名古屋でもそうだった。だから和田町に帰って来て、重春小学校で平野や高松から4、50分もかけて徒歩で通ってくる友達がいることにとっても驚いた覚えがある。南中に進むと更に芳田地区から自転車通学する友達が新しくできた。

集団登校の習慣のないフランスでは親が毎朝子供を連れてくる。小学校は日本よりずっと小規模だがそのぶん数も多く、各地区にあるので

大抵は歩ける距離なのだが車で乗り付ける親も多い。朝はみんな時間がないのだ。下校時もしかり。小さい子供だけで歩くことがないので歩道橋なるものもない。小学生だけでおしゃべりしながら、という光景はフランスではほほえない。また



実家近くの小学校

たヴァカンス(長期休暇)が多い代わりに普段の就学時間が長く、下校時間は小学生でも四時半。そのためか下校中におやつを与えるのも普通で、パンオシヨコラをかじりつつ親(あるいは子守)と帰宅する姿をよく見かける。食い歩きは良くないという躰を受けてきた私には最初は結構シヨッキングな光景だった。

のファンシーショップによく行ったものだ。田んぼや織物工場のそばを通って行ったアーケードのある商店街。制服を売るお店が脳裏に浮かぶ。今ほもうすっかり変わってしまったようだ。中学では吹奏楽部で、コンサートや合宿にみんなで自転車で行ったことも懐かしい思い出。ヘルメットと安全タスキは必需品。小学生時代大半を西脇にいなかった私は、その自転車移動で他地区を新しく発見した。芳田地区に住む友人宅まで自転車で行ったこともある。今でも中学生はそういう行き来をしているのだろうか。それとも時代とともに変化して親が車で送っていくのかしら? フランスは「ワイ(ハイ)である。私の勤めるコンセルヴァトワール(音楽学校)にも自転車で来る生徒は稀だ。だがお稽古事の数が多き日は兄弟それぞれの場所、それぞれの時間に連れていかねばならず、親はタクシー運転手さながらだ。

私の住むモンリュソンは規模的に西脇とよく似ている。フランスのほぼ中心にある田舎の小都市。私はフランス人に、自分の原点に戻ってきた感じとよく冗談半分に言う。都会の至便もいいが、毎日の生活には喧騒のないこれぐらいの方が何かホッとするものがあるのだ。

フランスに住んでもう四半世紀を超えた。なかなか帰郷出来ないが、やはりふるさととは遠くにあっても想うもの、青い空、緑深い、そしてなつかしい「ふるさと」なのである。

プロフィール
●横道多恵子(よこみちたえこ)
昭和44年生まれ、重小、南中、小野高、東京芸術大学卒業。その後渡仏してパリ・エコール・ノルマル、パリ13区立音楽院を経てリヨン国立高等音楽院卒業。DE, CAというフランスの教員資格(タラリネット)を取得、現在モンリュソン県立音楽院にて教鞭をとる傍ら、室内楽やオーケストラでも活動している。

にしわき発見 きつね塚古墳

古墳が神社の御神体

芳田地区の明楽寺町郵便局上から左に100m程入ると「きつね塚古墳」がある。

名前の由来は、近世の頃、稲荷神社の祠があり、樹木も茂っていたため、キツネが棲んでいたからとの言い伝えが残っている。

古墳は神道大和教の輝根家教の苑内にあり、古墳自体が神社の御神体となった遺跡である。昭和25年7月20日に地元住民によって発掘され、大きさは、直径11m・高さ3.5mで丘の斜面に築かれており、明楽寺1号墳と呼ばれ、この地を支配した小豪族の墳墓で7世紀末〜8世紀初頭の築造とされている。

南東の方向に開口部があり、全長7.9mの



所在地 西脇市
明楽寺町上中尾14



横穴式石室が見られる。その中に長さ1.67m、高さ幅とも0.81mの流紋岩質凝灰岩でできた県重要有形文化財の組合式家形石棺が収められており、また、過去の調査では、2体の人骨が確認されている。

石室内部は見学できないが、開口部前の祠から内部を窺うことはできる。

今は、新たに移された稲荷神社や礼拝堂も建立され、輝根家教苑も2年前に50周年を祝うなど、地元の人たちの信仰はもとより、遠くからの参拝者が絶えない。

霊験あらたかな「きつね塚」をいつまでも守っていきたいと思っている。

(輝根家教苑総代 宇仁智 正巳)



NPO法人みなみ会を応援します。

目の前に広がる自然に向かって思いっきりショット!
300ヤード80打席のステージ!

練習場・ショートコース・ショップ・スクール

Takamatsu Golf Plaza
高松ゴルフプラザ

URL <http://www.takamatsu-gp.jp>
Mail takamatsu-gp@vivid.ocn.ne.jp
西脇市高松町 635 TEL.0795-22-9595 FAX.0795-22-0590

NPO法人みなみ会、がんばってください!

**一時・休日学童も可
病児保育もOK!**

★保育時間 AM.7:00~PM.7:30
★対象年齢 生後6週間~就学前

社会福祉法人 **かすぎ野**
西脇こども園 幼稚園部 保育園部

ひと 郷土史の伝承者 菅澤 敏弘さん

8月4日、猛暑の中、野中町で遺構発掘者に対して、発掘事業の説明をのびた菅澤さん



菅澤敏弘さんは、生れは大阪・枚方市育ち。兵庫・猪名川町。35歳のとき、縁あって西脇市に就職。文化財保護を担当し、今年で5年目を迎えています。外から西脇に来たものだけに、西脇にも誇るべき歴史があるとおっしゃる。発掘調査で多忙な最中、菅澤さんに西脇市郷土資料館でお会いしました。

Q、西脇には歴史がないと言われていますが、この点いかがでしょうか。
A、西脇にも古くからの歴史が残されています。西脇といえば、江戸時代後期に興った播州織。西脇のまちの形成に果たした役割は

大きいですが、それ以前にも誇るべきものがあります。例えば、平安時代なかがころ、西脇周辺は須恵器の一大生産地でした。丹波立杭焼のルートが西脇なのです。また、西脇・多可で唯一の前方後円墳が、テラドーム前の岡の山山頂にあります。さらに、奈良時代には今の茜が丘に約70四方の境内を持つ寺院がありました。もっと遡れば、弥生時代の住居跡も発掘されています。

Q、西脇市郷土資料館の果たす役割は。
A、資料館は昭和59年開館と県下でも早く設置されました。この資料館は、これだけの展示品を揃えていながら、入館料が無料です。網羅的に西脇の歴史を知ることが出来ます。ただ、歴史好きな人には解説が必要な弱点があります。日本の歴史上の出来事を知るには、奈良や京都を訪ねなくても、自分の身近なところにもあります。資料館は体験学習、普及啓発活動、資料・文化財保護業務などをおこなっています。

Q、現在係わっている発掘業務について教えてください。
A、J.R鍛冶線跡地道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査です。昨年11月から今秋頃までの予定です。このような大きな発掘事業例は少ないです。その中で、弥生時代末期に建てられた竪穴式住居跡が、当時の形をどどめた状態で発掘されました。土器も多く出ています。先祖から累々とした生活の上に現在の我々があることが分かります。

Q、子どもたちへのメッセージは。
A、資料館に足を運んで、西脇市にも歴史があることを知ってほしいです。住んでいるまちの歴史を知ること、郷土愛が生まれてきます。説明は喜んでさせてもらいます。また、学校からお呼びがかかれば、生徒さんにその地域に合わせた説明もさせていただきます。学校の授業とリンクすれば、日本史がもっと楽しく、興味を持てるようになると思っております。資料館へのご来館をお待ちしております。

(取材・依藤 孝)

まち 歌声コミュニティ



「陽だまり」の歩み
開店10分前になると、「久しぶりやね、お元気？」の声にぎやかに聞こえてきます。一ヶ月振りに晴れやかな顔が集まります。

陽だまりのスタートは、8年前にさかのぼります。H22年6月頃、嶋田敏章さんが来られ「カトリック教会の方から教会活用」の打診があったとの事。私の歌声喫茶の提案に対し、嶋田さんも快諾。早速区長と各団体代表者へ案内状を配布。8月28日、具体的内容が決定。伴奏

は、教会の足踏みオルガン：垣内まゆみさん、ギター：岸本政勝さん（仕事の関係で途中退会）、2年前より鈴木直英さんが参加、ギター：村上公司に決定。29年1月より、「陽だまりバンド」の活動も開始しています。

歌声喫茶の名前は、ほっこりとしたたかい空間の意味をこめ「陽だまり」に決まりました。第1回目、22年10月30日。開催毎に人数が増え、収容人数オーバーにより、23年6月から和町公民館で開催しています。

(文・村上 公司)

第一部終了後
ティー・タイム時に、翌月のリクエスト曲募集。二部は、誕生日の歌でスタートです。当月生まれの方を、歌と手拍子でお祝いします。ワイワイにぎやかに、歌が大好きな方は真剣に歌い、少し難しい曲は苦笑いしながら歌ったり。

「皆さん楽しんでくださいね」と初参加された方、陽だまり後のランチを約束される方、リクエスト曲の演奏を心待ちにされる方など、終始ニコニコ顔で思い思いに楽しまれています。最も盛り上がるのは、12月のクリスマスマス。皆さん、少しドレス・アップされ、会場もセミ・プロ顔負けの飾り付けでクリスマス・ムードは満点です。



スタートから8年弱、歌った曲は計290曲。来場者は、和町町・西脇市・加東市・多可町・山南町・加西市・姫路市等、皆様のご協力のおかげで、今年7月に80回を達成。当初から支えて頂いた故人、毎月の出合いが楽しみな方々、「100回続けて欲しい」の声援者など「皆様の思い」に応えるため、節目を目標に頑張る、より一層飛躍したいと思っています。今後共、応援よろしく願います。



NPO法人みなみ会を応援します。

瑞穂の里
もみじ
藤本糧穀株式会社

お米の買取・販売させていただきます。

〒677-0054
兵庫県西脇市野村町1790-406
TEL.0795-22-7031
FAX.0795-22-4311

NPO法人みなみ会、がんばってください！

各種配電盤・高級焼付塗装

アサヒ工業株式会社

メラミン焼付塗装 静電粉体塗装
ポリウレタン塗装

〒677-0065 西脇市岡崎町503の5
☎ 0795-27-0716 ☎ 0759-27-0975

「夏休み読書感想文の
お手伝い」の指導を終えて

長井 好美

照りつける太陽とともに、今年も夏休みがスタートしました。「キャンパスに行つて川で遊びたい」「好きなことを思いきりしたい」と、40日あまりの休みに胸をときめかせてます。と同時に、学校の宿題に取り組むことにもなります。なかでも読書感想文は何を書けばいいのか分からず、迷っているうちに休みが終わりそうになってしまいます。

交流ルーム



もちろん課題図書もありますが、誰もが読みたいとは限りません。自分にとっての一冊―それに出会うことは、感想文だけでなく、その子の生き方や考え方にまで影響を及ぼすことがあります。

今年には保護者の方にも参加してもらい進め方の説明を行った後、まだ読む本が決まっていなくても達と一緒に図書館で本を選びました。「本の題名や表紙がいいな、と思うのでもいいんだよ」とアドバイスしたり、「物語で

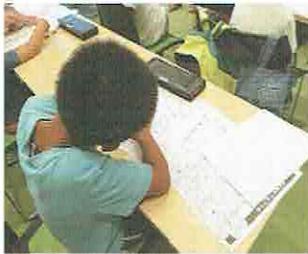
はなく興味のあることについて説明している本や深い部分にも触れて理解を広げられる本でもよい」と伝えたりしました。どの子も「自分にとっての一冊」を見つけようと、真剣に向き合いました。

やっと見つけた「自分にとっての一冊」を読み終えた後は、プリントに本の説明(あらすじ)に残ったこと、自分の体験等を書きました。そうして、それを元に下書きをしていきました。「○○さんだったらどうするのかなって言うかな」と自分に引き寄せて考え、自分の思いを率直に表現するように支援したりもしました。次々と書き進み「やっとできた」という子の顔には、やり遂げたという自身や安堵の表情が浮かんでいました。

一冊の本との出会いが、一生の宝物になることがあります。幼い頃、母が「これ読んでみて」と渡してくれた『ハムレット』。ドキドキしながらページをめくった日のことは、読書の楽しみとして思い出すことがあります。

高度情報化社会―ネットやY-TVが日常化した現代だからこそ、一冊の本・一つの絵本が伝えてくれる声に耳を澄ませ、自分だったら、と考えていくことも大切なのではないのでしょうか。

(サーポーター)



豊かな心を育むきっかけに

書名 クロニクル千古の
闇1 オオカミ族
の少年
著者 ミシェル・ペイヴァー
訳者 さくまゆみこ
発行所 評論社

物となる動物だけでなく氏族たちも、森までも死んでしまうと。死の間際に父親はトラクに悪霊が宿っているクマが力を増して強くなりすぎるまでに、誰も見つけ出したことのないという〈天地万物の精霊〉が宿る山を〈案内役〉と共に命をかけてさがすように誓いを立てさせます。

一人ぼっちになってしまったトラクは誓いを果たすため北へ向かいます。〈天地万物の精霊〉は〈高峰山脈〉の最北の山にすむとされているのを知っていたからです。途中で大水により家族を亡くした子オオカミと出会います。生きるために一度は子オオカミを食べようと思しますが、結局殺すことが出来ずに、「ウルフ」と名づけ自分の弟分として一緒に旅を続けることになります。

トラクは〈天地万物の精霊〉の宿る山を見つけ出し、クマを倒すことが出来るのか?〈案内役〉とは?あなたもトラクの冒険の旅について行きませんか?
(西協市図書館 石井 美栄)



物語の舞台は、今から6000年前、ヨーロッパ北西部全体が森林でおおわれていた時代です。人々はオオカミやワタリガラス、アカシカ、ユキウサギなどの氏族に別れて狩猟採集をしながら暮らしていました。

主人公の12才の少年、トラクはオオカミ族ではありますが、みんなから離れて父親と二人きりで、森の中を移動しながら暮らしていました。しかしある日突然、野営していた森で巨大なクマに襲われ、父親は瀕死の重傷を負ってしまいます。

トラクは父親から、自分たちを襲ったクマは悪霊が入り込んでいて邪悪にしていると教えられます。そしてこのままでは、獲

今年、6月下旬から7月初旬にかけて降り続いた豪雨は、西

日本を中心に甚大な被害をもたらしましたが、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。幸いにして当地区には大きな被害はありませんでしたが、災害に対する備えの大切さを思い知らされました。また、異例の進路を辿った台風12号や連日の猛暑など、地球温暖化がいよいよ深刻な事態になりつつあることをひしひしと感じています。

さて、みなみ会では7月25日(水)猛暑日の中、旬菜館駐車場に於いて開催されました「しばきくら夏祭り」に協賛させていただきフランクフルトの販売や飲み物の提供など、多くの方に接することができました。地域コミュニティづくりにも少なからず協力できたのではないかと自負しています。

また、今年で3年目になります「夏休み読書感想文のお手伝い」では、市内3会場(3日間実施)小学生に指導者のべ72名

事務局から

を配置し実施しました。また、「みんなの工作のお手伝い」では6日間のべ91名の参加者により、お互い助け合いながら熱心に楽しく作品づくりに取り組んでいました。工夫をこらしたすばらしい作品が出来上がっていました。

「宿題をやっつけよう」の取組みでは、市内15箇所の公民館や市の施設で、学習支援を中心に教員OB、大学生、西脇高校生を配置し全60回実施しました。実施にあたり各町の区長様や公民館長様をはじめ多くの方々の協力を得ることができ、西脇市の子供たちのために何らかの役に立てたのではないかと考えています。まだまだ改善しなければならぬことがあります。皆様からのご支援、ご意見をいただきながらこれからもがんばりたいと思います。

(事務局長・西村安正)